西多摩医師含版

第76号 昭和54年1月



秋川の日の出 秋川 近藤友好

目	次

年頭所感会長 高水 武夫… 2	"四次元空間の思い出 〃鈴木 晴夫… 14	
三多摩監察医務制が医師会の委託業務に	吾輩は馬である葉山 侃… 1	
	越年迎春福島 大寿… 10	
文芸・随筆	新年に思う三澤 剛文… 1	7
初日礼拝他小泉 新策… 3	世界旅行の味覚岸田 壮一… 15	
「遂には初夢に到るゴルフ談」市原 靖… 4	理事会報告 2	:0
オーストリア旅行大河原 周… 5	事業部だより	
	学校医部·······2	
山手 (なな)栗原 正吾… 9	保険部	23
白黒礼讚近藤 友好… 10	医師会日誌2	4
続・四次元に起因する病気塩澤 三朗… 11	同好会だより2	
吾辈は犬である 鈴木 修… 12	あとがき2	26
音音は大じめる 50小 12	a) C /J* e	



年頭所感

西多摩医師会長 高 水 武 夫

皆様、新年おめでとうございます。

昭和53年は福田内閣によって、国民待望の日中 国交樹立を成しとげ、長期安定政権に一歩前進と 思われましたが、選挙の結果は意外にも大平内閣 誕生となり、国内騒然としておさまらない内に、 米中国交樹立の電撃的発表があり、世界状勢もこんとんとした内に昭和54年を迎えました。

われわれ医師会にとっても、来るべき通常国会においては、昨年の国会で継続審議となった健保 法改正法案が審議されるのは勿論、社会保険診療 報酬課税特例は、53年度限りと昨年政府が言明しておりますので、54年度においては、何等かの手 直しがあることは火を見るより明らかであります。

かかる現況をふまえて、日本医師会、東京都医師会と一体となり一致団結して難局に処して行かねばならない年と思われます。ところで我が西多摩医師会において最近問題となっていることは、いわゆる老人病院、特別養護老人ホーム等の急増設であります。東京都で30近い施設の内、23区内には4ヵ所しかなく、他は全部三多摩地区にある現況でありますが、最近その波が急激に西多摩地区に押し寄せて来て、我が医師会の頭痛の種となっております。営利事業的考えの下にわれわれ医師を利用して施設を造ることには、医師会としては

反対の立場を取らざるを得ません。このことに付 きましては、各自治体とトクと話し合い、自治体 と医師会と一体となってこの問題を解決して行か ねばならないと考えます。次に西多摩地区の地域 医療については、自治体、保健所と一層連携を強 め、自治体首長と西医役員との懇談会も年2回行 なうことになりました。また、保健所との連絡会 も毎月実施されております。予防接種、休日診療 も順調に行なわれており、特に東京都が実施する 救急対策の一環としての休日夜間診療並びに準夜 間診療についても、西多摩地区内医療機関の絶大 なる協力のお陰をもちまして、これまた極めて順 調に実施されており、会員の皆様のど協力に対し 深く感謝致します。次に医師会館の改築整備も完 了し、また、6、9カ月児健診問題も一応の結論 を得て順調に実施されております。

なお、54年度の学校医手当、予防接種手 当等 につきましては、昨年12月初旬に自治体代表者と話 し合いの場を持ち、円満に解決決定致しましたこ とをご報告しておきます。

以上簡単ではありますが、年頭にあたりいささかの所感を述べ、会員の皆様の一層のご協力をお願いする次第であります。

三多摩の監察医務制が医師会の委託業務に

三多摩地区に、この程監察医務体制が確立し、 10月20日から業務を開始した。

監察医務制度は、戦後、政令指定都市を対象と してできた制度で、東京都では23特別区だけがそ の対象となっていて、三多摩および島しょ地域に は適用されていなかった。従ってこれらの地域に おける変死体の死因確認は、検死のみの推定死因 で処理されてきたのが実情で、慣例的に警察医が この業務にあたってきた。

三多摩地区では、かねてより監察医務院分室の 設置を希望する動きが起きていたが、昭和48年、 慈恵医大の青木利彦教授をはじめ三多摩地区の各 医師会長その他の有志による署名運動となって表 面化した。

これを受けて都医師会が都議会議長に請願書を 提出そして都の予算化へと発展し具体化したが、 折り悪しく都の財政難から、数年にわたって毎年 要求してきたにもかかわらず実現しなかった。

しかし幸いにして、53年度の都予算で 2,200万

内 Ш 大 副会長

円余の予算が計上されたことから実現の運びとな ったのである。ただ三多摩地区に監察医務院の分 室を設立することについては政令の改正その他問 題があり、早急実現は困難のため、とりあえず検 死は医師会に委託、解剖は慈恵 杏林の両大学に 委託して当分の間、実施することで合意された。

よって去る 10月 11日、「東京都が行う多摩、島 し よ地域監察医務業務に関する契約」が、都知事と 都医師会長との間で調印され、本業務が正式に医 師会の委託業務となった。引き続いて都医師会と 三多摩地区の各医師会との間で、実施についての契 約が締結され、10月20日から実施となったものである。

実施要綱には、検死については医師会がこれに あたることが明記されている。三多摩では従来、 警察医が検死に携わってきた。元来警察医の職務 は「留置人および警察職員の健康管理、衛生指導」 にあるので、検死の業務を専任することは出来ない。

従って、必要に応じて医師会員が随時本業務に 参加するわけである。

文芸・ 随筆

来し「くすし ささげて我進まなん の道をひ た すら K

H 暮 福祉社会 希 新望 玉の 実 れと老も若きも 会をきずきてし 春うららけきかな ひたすら か 17

か 12 瑞雲 初は敬 赫き 日 初 わ 礼 けて 日 をか

h

年

幸きとと繁げく栄あ

れ

神に

祈り

ぬ

p

かに一

と年瀬越えて又迎

感 謝 水掬みて

昇り しこみ拝 出 づ 3

小 泉 新

策



「遂には初夢に到るゴルフ談」

聖明園市原診療所 市 原

私は茨城出身なので、時々水戸ゴルフに出かけ るのを愉しみにしています。東青梅午后4時6分 東京直通の電車に乗れば、あとは上野6時発の「 ひたち17号」で、水戸には7時18分に着きま す。その時の気分次第で、ロッジにしたり、市内 のホテルに泊ったりして、朝8時頃スタートしま す。見知らぬ人と組んで廻るのも面白いものであ ります。ロング・ヒッターの若者や、妙技極まり ないシニアのゴルファー等、相手を観ているだけ で充分堪能できます。僕は随分変ったホームで、 それも力いっぱい振りまわすので、特別印象深い のか大概一緒に廻った人は覚えていてくれます。 遠隔の地で知人が次第に増えるのも亦愉しみであ ります。東の6番でしたか、ロングで一生懸命叩 いていましたら、右手に濶然として水戸市街が展 がっていました。遙かに大小さまざまのビルが立 ち並び、点在する緑地帯を処々に見せ、市街は南 北に展開し、何条かの白い通りが見えるようです。 その通りは水郷に、そして大洗に、北は日立、高 萩に、南は東京に通じているのでしょう。白い道 を眼で辿りながら、一瞬次のような光景を想い泛 べました。頃は130年前のことです。江戸住いの 侍医達が皆匙を投げた程、藩主斉昭の一子慶徳の 病気は難病でした。藩命により幼君の生命を救う べく、本間玄調は夜通し江戸への道を歩き通し、 そして見事重症脚気を救ったのですが、これは在 りし日の玄調の颯爽たる逸話です。今眼前にひろ がる景色の中に、ただ只管に江戸への夜道を行く 玄調の姿が見えてくるようで、多分あの道を行っ たのではあるまいかと眼で追っていると、わくわ くしてきます。そんな想いに耽っていた時、「こ この眺めはいいでしょう。大洗も景色がいゝが、 水戸ではこのコースの眺めが一番ですよ」とプレ イメートの初老のシングル氏が説明してくれまし た。ゴルフの醍醐味がここにもあります。あたり の風景と人間的な歴史が結びつきますと、急に景 色も活き活きとしてきます。

八王子でプレイしていても、狐狸庵閑話に出て くる八王子城の攻防戦が想い出されてきます。ゴ ルフ場とはずっと距っているでしょうに、ラフや林にでも入ったりしますと、前田利家、利長軍に包囲された北条軍の落武者が、まるでそこの切株に躓いたり、木に膝をぶつけたり、そのうちの一人横地監物なる人物は遂に野伏に襲われたり、そのような光景が想い出されてきてゾクゾクしてくるのです。

青梅ではいつも壮大な夢を百日夢の如く垣間見ます。何度がとの夢は初夢にも見たのですが、聖明園の裏山から打ったティ・ショットが遙かゴルフ場の山を超えて、天空高く飛んで行くのであります。何度か夢に出てきているうちに、僕の脳裏では既に歴史的な事実のようになっているようです。青梅でプレイしていて、たまたまいゝショットが出たりしますと、最前の天馬空を行くティ・ショットの続きのような錯覚に襲われます。今年もそんな初夢を是非とも見たいものであります。

以上多分にパラノイア的な印象譚ですが、ゴル フ談をとりとめもなく述べてきました。今年は6 月に病院のコンペに招ばれ、欣喜雀躍猛練習して 参加しましたが、そのあとがよろしくなく、愉し みのあとには苦しみありで、50 肩と腰痛にすっ かり痛めつけられてしまいました。 50 才になっ た途端に50肩で、少し早過ぎるような気がしな いでもないのですが、従ってゴルフはすっかり御 無沙汰で、引かれ者の小唄のような、それよりも ゴルフ恋しさに以上の事を綿々と書き綴った次第 です。その道でも大家であるY先生は、練習し乍 ら治すようにとおっしゃいますが、とても痛くて できません。「50という年は何と痛い年だろう」 とぼやいていますと、女房はS歯科の看護婦さん 達が日頃弱虫と噂さしているのが真実のことなの だろうかと、疑いの眼で見ているようであります。 夫はいつも雄々しくなければいけないのです。何 はともあれ来年はゴルフのできる良き年でありま すよう。50 肩様、腰痛様に合掌。

能除一切苦。御瑠賦善哉善哉。真寒不虚。 羯諦 羯諦 波羅羯諦。

オーストリア旅行

大 河 原 周

7月31日(月) ウイーン

朝ミュンヘン空港からオーストリア航空で1時間で、ウイーンのシュベヒヤート空港に着く。

空港から市内への途中、ウイーン郊外の田園風景が続いて美しい。バスは市内への途中にある中央墓地に立ちよる。この墓地の一角にはウイーンの人達の敬愛する音楽家達の墓が集っている。墓地はモーツアルトの記念像を中心として、ベートーベン、シューベルト、プラームス、ヨハンシュトラウス父子等の墓がある。ホテルは中央部のケルントナー通りに沿った、便利な場所にある。

午後はまずウイーンの象徴とも云うべき、聖シュテファン寺院に行く。この13世紀に建てられた、ゴシック式の大伽藍は高い尖塔をもっていて、広い堂内には巨大なパイプオルガンがある。第二次大戦によって破壊されたが、戦後修復されたものである。

帰りにウィーンの銀座通りとも云うべき、ケルントナー通りを歩いてホテルに帰る。両側に商店が並び、ショーウインドウもきれいに飾られ、散歩の人達でにぎわっている。

夜はアンデァ・ウイーン劇場でレハールのオペレッタ「メリー・ウイドウ」を見る。このオペレッタは既に70年前も前からこの劇場で何 4回も上演されているので、実になれたもので、しゃれて面白く、歌や芝居もうまく、バレー場面等も見事であきない。劇場の雰囲気も華かである。

オペラが終ってから、ホテル迄歩いて帰ったが、 夜の街もにぎやかで、ネオンの光も多く鮮かであ る。ウイーンに来て感じたことは、街もにぎやか で、建物もきれいで、ホテルの食事等も急によく なり、ウインナコーヒーやお菓子もおいしくて、 ョーロッパの街では最も印象が深い。さすがに長 い間ョーロッパに君臨した、オーストリア帝政の 名残りが多いことである。

8月2日(火)ザルツブルグ

今日はウイーン滯在の予定であったが、予定を変更して数名とザルツブルグに向うことになった。 午前11時ウイーン西駅発、プレゲンツ行急行 で14時10分ザルツブルグ中央駅着。オーストリア旅行社の人の出迎えを受け、ホテル迄案内してもらう。

ウイーンの空はよく晴れて気温も低く、風もあって気持がよかったが、ザルツブルグは日射も強く、暑く感じる。

今日乗った列車の一等車はシートがかなりゆったりしたもので、片側に2つずつ4つ、反対側は1つずつ2つ向い合せになっている。4生席の背中側のシートの間が広く、スーッケースを立てて重ねると4つ置ける様になっていて、食堂車もついている。

今度の旅行は列車を利用することが多いが、2 日前にベネチアからベローナ乗換でミュンヘン迄 列車に乗ったが、これがTEE(ヨーロッパ横断 特急)で、ミラノー、ミュンヘン間を 7 時間で走 るメディオラヌム mediol anum であった。 西独国鉄の車輛で、編成は電気機関車と1等車3 輛と食堂車である。客車は6人乗りのコンパート メントで、通路との境はガラス張りで、窓も広く、 電動式のプラインドがついている。1車輛の収容 人員は50人余りで、今迄みたこともない様な立 派な造りである。食堂車は片側に4人と反対側に 2人のシートがあり、42人収容となっている。 食事は定食のフルコースで、終る迄1時間40分 もかかったが、料金は飲物を含めても、3千円に 足りなかった。これだけの乗客数ではどう考えて も、経済的にペイしないと思うが、こうした列車 が運行されているのもヨーロッパらしい。

一般にドイツ、オーストリア内は列車運行は正確であったが、イタリア内は 20 ~ 30 分位の遅れは普通である。4日前にピセンザからミラノに見物と買物に行った帰りに、ミラノ駅では急行列車が1時間半も遅れた。その間アナウンスもなく、乗客はおとなしく待っていたが、これでは社会生活にも差し支えがでるのではないだろうか。

ザルツブルグはオーストリア西部のドイツ国境 に近い、人口 20 万の都市である。ザルツアッハ 河に沿った、オーストリアでも最も風光明媚な街と 云われている。 この街が古くから発展したのは、早くからローマ文明とキリスト教の洗礼を受け、昔から大司教の領地であったことと共に、附近から岩塩を産し、 又東西交通の要衝であったためである。

しかし現在との街が世界中に知られているのは、 音楽家モーツアルトの名に結びついている。

モーツアルトは 1956 年にこの美しい街に生れ、 25 才の時にウイーンに移る迄この地に住んでいた。今年は生誕 222 年に当る。

モーツアルトを記念して、毎年夏にはザルツブルグ音楽祭が開催され、ヨーロッパのみならず、世界中から音楽愛好家達が集ってくる。私は2年前から夏にヨーロッパ旅行をしてきたが、今年は南ドイツとオーストリアに行ってみたいと思っていた。しかしこの地方は夏は各地で音楽祭が催されるので、この機会に旅行社主催の音楽祭の旅に参加したいものである。

夜6時半から祝祭小劇場で、モーツアルトのオペラ「ドン・ジョバンニ」が開演された。

指揮はカール・ベーム、演奏はウイーンフィルであるが、ベームは 40 年前にザルツブルグ音楽祭でこの「ドン・ジョバンニ」を指揮して以来、毎年連続して出演している。ベームのオペラは、15 年前にベルリンドイツオペラを率いて東京で公演して以来であるが、その時のベリー、マチス等も出演している。又昨年のベルリン国立オペラの東京公演に於けるシュライアーの明るい声と、トモアシントウの端正な容姿と鋭い歌声も忘れられない。

本場での豪華な出演者達による、モーツアルト のオペラは美事なものであった。

公演が終ってからのカーテンコールはすごい拍手と声援で、特にベームが舞台に現われた時は聴衆は床をふみならしての熱狂ぶりで、この8月また84才の誕生日を迎えるこの老指揮者に対する賞賛の声援が何時までも止まなかった。

8月2日(水)ザルツブルグ

朝起きると雨が降っていたが、次第に止み、午後には陽が差す。

今日は予定がないので自由行動で、ザルツブル ク市内の見学に出かける。旧市内は主な建物は 2 km以内の範囲にあり、夏の間は自動車進行禁止に なっているので歩き易い。 フェスティバルホールの前の通りを行くと、正面に聖ベテルス寺院の塔とホーエン・ザルツブル グ城が見え、夜は照明に浮き上って美しい。

左側の奥のコレギエン教会の前の広場に朝市が立っていて、花や果実、野菜等の屋台が並んでいる。その左側に13世紀に建られたフラチマカン寺院がある。更に進むとこの町の誇りとするドーム(大聖堂)がある。このドームは17世紀に建てられたパロック初期の美しい姿を示し、このパイプオルガンは有名である。正面のドーム広場に美しいマリア像がある。

ドームの左側のレジデンツ広場には17正紀に建てられた美しい噴水があり、その角にある鐘楼の上のグロッケンシュピールからは、朝夕鐘の音が響き渡っている。その北側の聖ミヒヤエル寺院の前のモーツアルト広場には1842年設立のモーツアルト像がある。

ドームの右側のカピテル広場からは正面にゲルツブルグ城がよく見え、その奥の通りにお城に登るケーブルカーの駅がある。ザルツブルグ大司教の居城であったホーエン・ザルツブルグ城は120mの丘の上にあり、11世紀に建てられたもので、見晴台からの展望はすばらしく、ザルツブルグ市内を眼下に収められるが、今日は曇っていて眺めはよくない。

山を下りてからザルップルクの銀座通りとも云うべきゲトライデ通りに行き、レストランで昼食をとる。この通りは狭い通りであるが、観光客で一ぱいで、両側の商店のショーウインドーにはしゃれた服装品や商品が並べられてあり、レストランや商店の美しい彫刻看板が道路に面して飾られている。

ゲトライデ通りの途中にモーツアルトの生家がある。その4階に家族の客間や居間と、モーツアルトが生れた部屋と台所が当時のまま残っている。モーツアルトが子供の時に使ったヴァイオリンやピアノも並べられている。その暗い壁面に私達がよく本で見るランゲの未完のモーツアルトの肖像画とか、家族や2人の子供達の絵がかかっている。これらの私達がよく知っている肖像画の数々が暗い壁の上にあまりにも無造作にかかっているので、始めは模写かと思ったら全部オリジナルな作品だそうで、モーツアルトの肖像画は近寄ってみると、意外に明るい色をしている。

モーツアルトの生家からザルツアッハ河を渡り、 モーツアルテルム音楽院の前を通り、ミラベル公園の前迄歩いて行ったが、そこで疲れたのと時間が無くなったのとで、ホテルに引き返した。帰りにドーム広場の近くにあるへーリゲル書店によってモーツアルトの伝記等数冊の本を買って帰った。

夜は7時から祝祭大劇場でリヒハルト・シュトラウスのオペラ「バラの騎士」を見に行った。ドナホーニの指揮であるが、ヤノビッツの上品な容姿と歌がきわだっている。3日前にミュンヘン国立オペラ劇場でクライバー指揮の「バラの騎士」を見たが、ザルップルクの方が舞台も立派で、わかり易い様な気がする。

8月3日(木) ザルツプルグ

朝から天気はよく晴れている。バスでザルツカンマーグートの観光旅行に出かけた。

ザルツカンマーグートはザルツブルグ東方の高原にある湖沼地帯である。ザルツブルグを出発して、フシコル湖からサン・ウォルフガング湖を通ってサン・ウォルフガングで下車、古い教会を見た。バード・イシコルからトラウン湖に達し、湖畔のエーベルゼーで昼食をとった。忙いで湖上を遊覧船で渡り、グムンデレに着き、そこからウイーンからの高速道路によってゲルツブルグに帰った。

周囲を高いオーストリア・アルブスの山々に囲まれた湖の景色はすばらしく、この辺はヨーロッパでも最も風景の美しい地方である。 道路の周辺には花を飾った農家や民宿があり、湖畔にはオートキャンブ場もある。 バカンスのシーズンなのでヨーロッパ各地からの観光客で混雑している。

夜 7 時から祝祭大劇場でリヒハルト・シュトラウスのオペラ「サロメ」を見る。

指揮はヘルベルト・フォン・カラヤンであるが、 オスカー、ワイルド原作のこのオペラは最も魅惑的、 官能的な響きを持ったもので、最近のカラヤンの 音楽の特徴に近いものである。オーケストラも大編成で音も大きいので、歌手の声もかき消される程である。ザルツブルグの音楽祭がこれだけ盛大になったのは、この街出身のカラヤンの協力によることが多い。

この祝祭劇場はメンヒスベルグの岩山をくりぬいて造られており、2.370人収容の大劇場と1,340人収容の小劇場がある。音楽祭シーズン中は両方で毎日オペラや演奏会が開かれている。

通りに面した入口は劇場らしくない素朴な造りであるが、一歩中に入ると途端に豪華な内容をみせている。舞台は高く、奥行も深くて、装置も本格的で立派で、音響効果もよい。

休憩時間になると、広いロビーや外の道路まで 観客であふれ、飲物を飲んだり、しゃべったりし ている。観客の服装は男子はタキシードや黒の洋 服が多く、女の人は華かな色彩の長いイブニング ドレスを着て、さながら社交場である。

観客は中年以上の人達が多いが、最近は入場料も高くなり、他のオペラ劇場の3倍位に達している。もっともヨーロッパのオペラ劇場の入場料による収入は経費の40%以下が普通で、不足分は国や州からの補助に頼っているので、これらの公共団体からの補助がなく、又これだけの豪華な出演者を揃えると云うことになると、入場料の高くなるのは止むを得ないことかも知れない。

それでも入場希望は定員数の数倍に達し、中々 入場券の入手が困難になっている。特にベーム指揮のオペラ等では、数倍のプレミアムがついているとのことである。

それにホテルの宿泊も困難で、一般の民宿迄利用している現状である。そのために最近はこうした催しが一部の余裕のある階層や、観光客のためのものになっていると云う非難も見当はずれではなくなっている様である。(未完)



大 角 晶 彦

早いものです。先輩や、同僚達が、次々に去っっていった巨塔を、又、私も離れて一年が過ぎました。開業医となった先生達よりよく聞かされました。「開業してみるとわかるんだよ。 兎に角、診るのは患者ではないんだ、患者様なんだよ」。「聞いた事があるだろう? 一に在宅、二に笑顔三、四がなくて……等々」。又、学んだ医学が実際面で時には無力な事も。

しかしあえて叫んでました。生きる「可能性」 の追求・生命の尊厳・等々の言葉にのせて批判的 に。やはり若かったのでしょうか、いや、巨塔? の内の甘さでしょうか? 今は素直に、無難に過 ぎた事を安堵しています。

師走の一人問答 ①

先日、都心のバスターミナルで、列の中に立っ ていました。私の前に、同じ行先のバスを待つ一 人の老婦人が居ました。長い列はバスの到着后も 遅々と進まず、やっと乗車口についた時に老婦人 はそっと右に道をあけました。「乗らないですか ?」 と私、「15 分も すれば後のバスが来ます からゆっくり座ってゆきますよ、お先にどうぞ」 車内を押されながら、「身体の不自由な方、お年 寄りにお席をおゆずり下さい」の優先席の前に立 ちました。と、発車間際に、70を少し過ぎた老 人が(男の様な女性)とでも申しましょうか、人 混みを分け近づいて来ました。胸から無料バスを つるしたまま、聞かせる如く喋りました。「あゝ 疲れた、何んでこんなに混むんだろうネ」、「優 先席ってどこだろう?」と、私の前に座っていた 若い女性、そうです、眉目秀麗な女性です。俯き 加減に、頬を染めて、窓際にそえた荷物の横から 片手杖を出して脇にはさみ立ち上がりました。

「どうぞお座り下さい」……… 何と云う事でしょうか、老人福祉が徹底していると感心する事と 送療行政の貧困を嘆く事との意識の相異を感ずる だけで済む事でしょうか?

そしてその……②

お陰様で、多くの人々と何らかの縁を持つ事が

出来ました。数人の患者を対象に、克明な説明をし、出来る限りの知識を絞り出して、威厳を保とうと、背中を、胸元を流れる冷汗を隠す必要もありません。が、今は大勢の患者達と、一緒になって、健康を考えてあげる事が出来る様になりました。疾病の一つが、実験的、研究的対象でなくして、全身的管理の把握と、実践に結びつけてゆければと、理想の一端も芽生えました。当然の理由なくして他人、人間の、健康権は患者本人なのですからしておかす事は出来ません。

予防医学の時代に入ろう。いや入っている現在 の医学でも、どうしても生づる矛盾は如何様とも 仕方ないものでしょうか。

健康権は患者自身です。しかし正しく、理解の 出来る範囲での教えと、指導はこれ医者の医師と しての医者のつとめ、いや義務だと考えます。

盃をかたむけながら、もう師走だ、さあて、クリスマスだ。そして紅白で、除夜の鐘で、新年です。正月にはお屠蘇をのんで。又来年も大いにお酒をたくさん飲める丈夫な身体であってほしいなあと、盃をおきました。

誌上をおかりして、医師会の先生方、一年間御 指導有難う御座居ました。来年もよろしくお願い 申し上げます。

山毛欅 (ぶな)

栗 原 正 吾

昭和49年、西多摩医師会60周年記念史の末尾で、会員の紹介欄に私の趣味として、確か盆栽とその他二、三何か書いたような気がする。小生如き若輩があれこれ申し上げるのは、誠におこがましい次第だが、再び盆栽について少々感じたところを書かせて頂く事になった。

「天地是在一盆之中」こんな固苦しい言葉も、最近は素直に理解される時世になってきた。昔から盆栽は、金持の隠居趣味で、背を丸め、チャンチャンコを着て、鼻眼鏡のスタイルで往来の人を上眼使いに眺めている —— と思われがちだったが昨今では大いに考え方が違ってきた。この狭い国土での自然破壊、核家族化、レジャーの拡大、ストレスの解消、或は健康増進に等、周囲の情勢のおむくまゝに、「一盆の中に天地自然を求むるの喜び」が切実のものになりつゝある様である。

最近では老若男女の別なく、中でも若人の盆栽への進出は目ざましいばかりである。人間の真の楽しみと、味わいのある喜びは、命あるものを育てる事に、心の安らぎを覚えるように見受けられる。いづれにもせよ、園芸観賞の興隆は遠く平安時代から江戸時代を経て現代に至るまで、何時の世にも、平和の象徴として伝え受け継がれてきたものである。

毎年2月上旬に、社団法人日本盆栽協会主催の 国風盆栽展が開催され、去る51年にその威容を 拝見し、実に驚嘆した次第である。

その中で特に記憶に残るものは、宮内庁の"ちやばひば"秩父宮家の"赤松"高松宮家の"ばけ"また武見日医会長の"野梅"等々一ッとして優劣付け難いものであった。根元の立上りの素直さ、そして豪快さ、逞しさは、実に自然の芸の妙味を堪能させてくれた。一枝一葉の分布の枝整に数百年来の天地自然の歳月の流れを一盆の中に求むるの感があり、古色蒼然として誠に味の深い逸品揃いであった。なお皇后の樹令約500年、徳川家光遺愛の五葉松を拝観し、たゞたゞ驚くと共に、数

世紀に渉る盆養継承の功を痛感した次第である。

松柏類の盆栽の威容もさることながら、雑木類の盆栽は春夏秋冬それぞれの変化に富み、花、実、紅葉とその樹幹の膚に四季おりおりの風情がある。

いま私の住んでいる家は、建ててから27年近 くなる。割合広い敷地だったので、近くの山から 採ってきて何本か植えたが土が酸性過ぎるのか、 又アルカリ性が過ぎるのか判らなかったが、次か ら次へと枯れて了った。しかし2本の"ぶな"だ けが成長していた。一本は枝整、枝様が小生に気 に入ったが、他の一本はどうも気に入らない。 つ いつい前者の方にばかり手入れもすれば、追肥も するという工合で、ますます順調に成育し、われ ながら立派なものになったと喜こんだが、一方の 木は日に日に衰えて遂に枯れて了った。植物も動 物同様に、心と言うか精神と言おうか、そんなも のがあるように思えてならない。 人間の心が植物 に通じ、植物同士も何等かの意志の疎通があるよ うに思う。植物の世界も人間界と同じに激しい生 存競争がある。生命力の強い植物は、弱い植物を 押しのけ、ますます本来の向日性を発揮して根も 太く各方向にふんばり、太陽と土、水、肥を充分 にむさぼって艶のある緑したゝる立派な葉を持ち、 幹を養う。丁度人間の顔貌、顔色がその体の健康 度のパロメーターになると同じである。

わが庭の "ぶな"の盆栽は、20 余年経った現在まで毎年紅葉が終っても色あせても、落葉しない。他の雑木が枯れて真裸でいる中に相変らず、古葉を着て立っている。その姿は、実に老残の哀れさを思わせ、或は往生際の悪さを感じさせるものである。が、実はこの "ぶな"なる木は寒風に耐え、風雪に耐えてて来春2月頃、健康な新芽が出てから安心して枯れてゆくものと言われる。

このような事がごく自然に毎年くり返えされて 行くのだが、それは恰も人間の親と子の輪廻を見 る如く、私の心を打つのである。

白黑礼讚

近 藤 友 好

なんだか面白そうな題名ですね、なんとなく読んでみようかなと思うでしょう。でもすぐに「なんて事だ読まなきゃよかった」と後悔するにちがいありませんから、止めた方が良いでしょう。だが書く方はこゝで止めるわけには参りませんので、他人様には関係なく、話を進めましょう。

白黒とは、光と影のこと此はモノクロ写真の話 です。森羅万象ことごとくが、仮の客であり時々 刻々、分々、秒々、瞬時に変化して、恒常なもの は何一つ存在しない、と云うならば吾々の目に見 える「物の容子」は何であろうか、この仮の容の 演出は光が主役であろう。光と影の織りなす現世 の幻に、あゝでもない、こうでもない、と目を血 走らせ、きりきり舞いをさせられている。何とお ろかな事だろうと、しかし何だねその仮の容がな んともいえず好きなんだね、あれを追い、こちら を求めて右往左往する日常に生きがいを感じて身 をすりへらしているんだから。もっと馬鹿な奴が いる。そんな変転して止まない仮の容を一所懸命 に追いかけて一瞬の容を少しでも長く留めようと フイルムをけちり乍らカメラに納めて歩いている 奴の事だ。そしてその作品?を佳いだの悪いだの、 やれ傑作だの駄作だのと云って自己満足している ˙のだからやりきれたものではない。云わずとも私 もその一人であるが、私はカラー写真よりもモノ クロ写真を礼讃する。これからその理由を極めて 分裂病的に又初老期うつ病的にだらだらと展開して 行くつもりです。もう読むのを止めた方が可いで しょう。カラー写真はともすれば色彩の華やかさ に目をうばわれて写真と物の本質を見失いがちで ある(但し名人は別です)それ、下世話にも「花 の色香に迷わされる」と云う言葉もある。その点 モノクロ写真だと未だ光と影の奥にあるものを多 少なりとも見ている様な気がするから不思議だ。 カラー写真ばかりをしばらく写しているとモノク ロフィルムを使っていながらつい色彩にとらわれ てしまい、光の強弱や方向、自分の位置等を忘れ がちになり、こんな筈ではなかったのにとその結 果に首をかしげる。しかしこれは本末転倒で「光」

をしっかり見て仕上りを見極めてからシャッター を切らないからである。吾々の「生きざま」も同 じだなあと思う。医師を志し若い世代を可成り無 理をして小さな器にいろんな物事をつめこみ、バ ンクしそうなのをやっと持ちこたえて国家試験で 全部はき出し、バンクをまぬがれやれやれと思っ て実際の医療にたづさわってみると、くそ面白く もない雑事が山積して頭が軽くなったとたんに首 から下はふらふらになる肉体労働(頭脳労働者な んて誰が云ったんだ)お互に顔を合わせると身の 不運を愚痴っている。だがこれは私達が医学を志 し、その色香に迷わされた時に、当然そうあるべ き結果が待ちうけていたわけなのだから、まずま ず仕方がなかんべえと「あきらめる」事にする。 己が愚痴の闇路をいつまでも踏み重ねていたら一 生たすからん事になるからそれはそれなりに「よ し」と肯定する以外にない。さて何の話だっけ、 そう白黒の話だっけ、「お前は技術未熟を棚に上 げて変な小理屈をこねる、写真と云うからには、 真を写すのだからより実景に近いヵラー写真の方 がより可いではないか」なるほどその通りだ、だ が色も光の具合で出来上っている事に変りはない。 ただ様々に修飾して吾々の目をごまかしてい るにすぎない。しかもごまかす要素が青赤黄の三 原色で3つある。モノクロは明るさと暗さの2つ だ、どうせだまされるなら数の少ない方にだまされ た方が気が軽い。これは変な理屈かな。頭の構造 が単純だからかも知れない。だが黒から白えのさ まざまなトーンは無限でその組合せに魅力を感ず る。鉄の肌合いの表現はカラーよりもモノクロの 方が勝れている。東洋人の感覚がよく受けれる墨 絵は墨の色合、濃淡の無限の変化によって微妙な 物語りを作り上げる。モノクロ写真も同じ感覚で 受止められる。モノクロ礼讃のゆえんであるが、 もっと大きな理由を白状すれば、モノクロ写真は自 分で簡単に仕末できるのが本意である。下手なネ ガフイルムを他人にみせる事なく上手に仕上げて その結果だけを見られるのだから、とかくの批判 をうけなくてすむ。幸いレントゲン用の暗室を利用

して画面の構成をたのしみ、現像液中で絵がうまく浮き出して来る時のよろとびを味い、下手くそなネガでも自分で仕上げた時は何ともうれしてなる。ここまでは他人にとやかく云われないですむ。かって病院勤務の折に一晩中病院のレントゲン用の暗室にもぐりこんで引伸しをやっていた。何となく外がさわがしくなって来たので出てみると午前9時、診療の始まる寸前であったりしてこんなカメキチであった事もあるが、技術は専らアマくさくて、感にたよって来たものだから、化学的に精密な事は知らないのでプロと話していてもっぱり分らないが、反面なんと面倒な事を云っているんだ、要はものの表現が出来ていればいいんだろう。そう云うプロの作品だって大したものを作ってな

いじゃないか、おれだって佳いものを作っているじゃないかと思う事がある「めくら、へびにおじず」でプロにはプロなりのものがある。たまに「これは面白い仲々佳いじゃないか」とほめられる事もあるが、その後がいけない。「だから素人はこわいよ」である。吾々アマは、こうあるべきだなんてものを知らないから、そういう彼等の概念 から「はみ出したもの」の中にたまたま予想もしない奇形児的な傑作もあるだろう。まあこんな所で行くしかない。私の一生もそんなものかも知れない。いよいよ死ぬ時になって、「まあこんな所かな」と云えればましな方だと思っている。正月早々こんな話になってしまった。

続 四次元に起因する病気

塩 澤 三 朗

本会報昭和 50 年 10 月号の「四次元に起因する病 気」を参照くだされば幸甚です。

○佐○ネ 明治 31 年生れ 症例1 昭和53年7月18日午前10時頃「風邪をひいたよ うで、気分がすぐれない。」と訴えて来院、 一見したところ、大変寂しそうな、しかもひきつ った顔をして、今にも押し潰されそうな姿であっ たので、憑霊されているなと直感しましたが、型 の如く診察をして、「風邪です。この薬を飲んで、 休養してください。」と言って帰宅して貰いまし た。その日の午後、娘さんに「おばあちゃんには 死霊がついているから、誰か霊能力のある人にお 願いして供養して貰ってください。 そうしないと 連れて行かれてしまいますよ。」と話しました。 娘さんの話によると 早速大館さん(羽村町に住 む霊能者) にお伺いしたところ、「おじいちゃん (昭和53年4月17日死亡)が、おばあちゃんの 右肩に乗っているのが見えます。おじいちゃんは 一人残して来たおばあちゃんが心配になり連れに 来たのです。」と言われた。そこで、「遺族の人達 がおじいちゃん!おばあちゃんをちゃんと見ます から、安心して下さいと霊前で唱えて線香をあげ てください。」と言われたと報告してくれました。 その通り、遺族の人達が 毎朝行なったところ、 三日目には おばあちゃんは寝床で大汗を流して

熱もさがりさっぱりとして 元気なもとのおばあ ちゃんにもどったのです。

原○ョ○ 明治38年生れ 症例2 昭和53年11月15日 午前10時半頃 「首が痛 くて昨夜は一睡もできずどうしょうもない」と 泣声 で訴えて来院、首を硬直させ、苦痛に満ちた顔で、 「イタイ、イタイ」と大声を上げる。あゝ、二人 の霊がついていると感じたので、「おばあちゃん、憑 霊されているから、霊能者にとってもらいなさい。 誰か知っていますか?」と聞きますと、付添って 来た娘さんが「1ヶ月位前にお店に来て何かあっ たら見てあげますよと言った大館さんを知ってま す。」という返事でした。早速、電話で大館さん にお願いして、その夜、娘夫婦でお伺いし、下水 のことゝ、二人ついてることを云われたと翌朝、 おばあちゃんが来て報告してくれました。後日、 わたくしが大館さんに電話で聞いたところ、「す ぐ下水が見えたが 仲々・霊が見えないので、塩 澤先生は何を感じたのか?教えてくださいとお願 したところ、35 才位の女性で顔に血を流した事 故死の霊が首の所にいて、足元には40代の男性 の霊が見えた。」と話してくれました。 35 才の 女性は、交通事故で死に、おばあちゃんの娘であ ったとのこと、この救われない変死者を供養する ことにより、おばあちゃんの首の痛は、うそのよ

うに楽になり、2日後には にこにこと明るい顔 のおばあちゃんを見ることができたのです。

ハイテーン時代に毎朝読経し、霊感の修養に精進したのですが、霊感は頂けなかったが 霊魂はあるということがわかり、科学的に証明するには 人間の生命を研究するであろう医学がよいのには ないかと考え、三井物産を退職して、医師にはは かたくしでしたが、何一つ証明できず、と教えでは は したさった田中先生に師事してから、最近されて を見ることはできないが、霊によって起されている を見ることはできないが、霊によった起されまい した。田中先生から「霊感が強くなり、格があがたね。」と言われるようになった現状です。 悪で起きた病気は、現代医学の治療法だけっま 現象で起きた病気は、現代医学の治療法だけの病気 び短時日で治癒することを体験しているのです。

よく、連れ合いが他界するとあとを追うように

残された一方もすぐ他界することがよくあるものですが、つれに来るものと考えています。症例1も 愚霊を気付かずにいたら、おじいさんに連れて行かれて、今頃は、風邪がもとで死んだと言われていることでしょう。病気の原因がだんだんわかってきていますが、まだわかっていないものも、かなりあります。この中にテーマのものがあると考えています。症例2も 愚霊に気付かなかったら、どうしようもない強烈な首の痛みに毎夜苦しみ悩まされ、生きてる心地せず、転々と病院を廻っていることでしょう。

科学者であるべきものが こんなことを信ずる とはと お笑いになる方もおありでしょうが このような事実があるということだけは 声を大にして言えるのです。このような現象を科学的に証明できる日が一日も早からんことを心より祈っているものです。

吾輩は犬である。

五日市 鈴 木

漱石の猫を相手にする気は毛頭ない。彼女は猫であり、名もない捨て猫である。吾輩は列記とした血統をもった由緒ある紀州犬である。だからといって彼女をさげすんだり馬鹿にするわけではない。それどころかその生活能力、観察力、思考等はかえって敬服に値する。

吾輩の生れは紀州和歌山である。愛犬家の那智 犬舎で良太と多喜姫の間に生れた純白の雄で、兄 弟は5匹である。兄弟はいづれも生後間もなく夫 夫犬好きの人達に引きとられていった。

吾輩は何故か主人に可愛がられて母親のもとに 最後まで残ってしまった。其の間2、3の人間が 吾輩を買い求めに来たらしいが主人が仲々手ばな さなかった。

いかなるめぐりあわせか吾輩が5ヶ月の春を迎えようとする時、昨年の雨降りの大晦日に現在の家に引きとられることになった。新しい家の第一印象は悪くなかったからやれやれと思った。

生家で母親と朝食後の一時を楽しんでいる時に 今の主人達がやって来た。わざわざ東京から和歌 山まで車で良い犬を求めてやって来たさうだ。それも大晦日にである。物好きにも程がある。

吾輩の経歴血統等を聞いていたが、生家の主人 も吾輩を手ばなす気になったらしい。母親との別 れの挨拶をするいとまなく今の主人等に伴われて、 そこからすぐに車にのって雨の中を大阪までドラ イブである。吾輩車にのるのは初めてゞある。そ れに満腹状態でゆられたのだからたまったもので はない。それでなくとも吾等日本犬は車に弱いの である。途中気分が悪くなり何度も吐いてしまっ た。その気持の悪いこと生きた心地もしなかった。 これが車酔いだということが後でわかった。それ でも途中2~3回車を止めては休ませてくれ、吐 物の後始末をしてくれたのだが。車ではあまり気 分悪さうで、元気がないので可愛さうに思ってか 大阪から東京までは新幹線とかにのせてくれた。 窮屈な箱に入れられたが座席の横に置かれたので それ程ゆれず、気分も悪くならないで東京につい た。それからが又大変、人間が一杯つめこまれた 電車とかにのって 2時間。腹はすくし、狭い箱の

中で身動きも充分出来ず、本当にまいった。それ でも何とか夕方には新しい住家にたどりついた。

翌日は正月元旦とかで、こゝまで吾輩をつれて来てくれた新しい主人の息子はどこかへ遊びに行ってしまった。主人等は和歌山からの帰り故郷に立寄って正月を過すとかで不在。吾輩は腹がへっさ仕方がない。車によった後だからあまり食べせない様にといわれているらしく 牛乳を少してもませてくれただけである。いくら鳴きわめいていませてくれただけである。いくら鳴きわめいない。吾輩が子供で初めて独り住いいるらて寝しくて鳴いての独り寝で寂しいことはある。大れである。それ位で弱音ははかないが唯腹がすくのには悲鳴をあげる。武士たらんとするのは仲々つらいものである。

正月早々にあまりうるさかったのであろう隣家の人が来て牛乳をくれた。空腹にまかせて腹一杯御馳走にあづかった。然し翌2日は下痢をしてしまった。3日になって漸く主人等が帰って来たがまだ下痢が続いている。又減食である。吾輩もいさゝかまいってしまった。我慢出来ず夜中中鳴き通した。疲れてやつれて来たのに主人等も気づいて、4日になってはじめて充分量の食餌をくれた。漸く犬心地がついた。

生まれおちたときからのしつけで、小屋の中では決して排泄をしないことにしている。必ず散歩に外に出た時に用をすます。然し今まで2~3回失敗したことがある。いくらわめいても朝早い時は仲々起きて来てくれない、そんな時には致方ない。それに下痢をしたことが2回程あり、これはどうしようもない。つとめて小屋の外の方にしようとするのだが金網をよごしてしまう。

そうこうする内に新しい環境にも慣れ、犬人関係もスムーズとなって、主人等も吾輩を家族の一員として取扱ってくれる様になった。

そんな或る日、見慣れぬ人が訪れて来て吾輩を 見るなり "これはいゝ犬ですね、コンテストに出 しましょう ″といゝ出した。吾輩には何事かよく 判らなかったが、その数日後からやっかいなこと が始まった。

毎日の様に吾輩を連れ出し、歩き方、走り方、 坐り方、臥せ、とべ、持ってこい等と色々な事を しつけ様とする。そんな面倒なことはどうでもよ い。好きなように走り廻り度いのだが生活して行 く以上致し方ない。

2~3ヶ月后、今度は金網の中に押し込められコンテスト会場なる広場につれてゆかれた。そこには同族の紀州犬の外、柴犬、甲斐犬等数十匹来ていた。どれを見ても大したやつはいなかった。然し吾輩はこの様なことはあまり好まないので適当にいわれる通りに行動したやうに思うが、それが優秀犬の仲間に入った為、又事がうるさくなった。次から次へこの様なコンテストがあるらしいが、それに出さうということになり又訓練である。小屋から外に出られることはうれしいが訓練は面白くない。訓練士も大変であらう。夏の真盛りに汗びっしょりになって、走れ、坐れ、それ臥せ、とやっているのだから。

然し毎朝、6時頃になると目覚しのピンポンが鳴る。主人が朝の散歩に連れていってくれる。途中2~3の同僚と逢い朝の挨拶をかわす。これは又楽しい一時である。吾輩より少し大きい雑犬が独りで川岸をブラブラしていたので声をかけたら何と思ったか、いきなりかみついて来た。これには驚いた。吾輩も応戦したが、何せ相手は大きい、つい本気になってかみついてやった。以来その犬には逢っていないが挨拶も相手を見てすべきだと感じた。

昨年の大晦日から今年の正月にかけて空腹で過した時のことを思うと、今年の大晦日から正月に は御馳走を一杯喰いゆっくりと過したい。

もう1年5ヶ月となり人間でいえば色気のつく頃である。そろそろガールフレンドを紹介してくれてもよさそうに思うが、新年にあたり、今年あたりはすばらしい彼女との逢遇を期待している。



四次元空間の思い出

福生病院產婦人科医長 鈴 木 晴 夫

私が "四次元空間 "と云う言葉に初めて出会っ たのは可成昔?敗戦の翌年の春の頃だったと思う。 その頃、誠文堂新光社と云う所から "子供の科学" と云う月刊誌が発行されていて、その雑誌に連載 読み物として、もう題名も作者名も忘れてしまっ たのですが、女性の科学者が登場する今で云うS F小説が掲載されていました。当時、小学生であ った私は友人から借りたその雑誌を放課後なぜか 小学校の正面玄関脇の植込みの所に 1 人寝転んで 読んでいた。そして "四次元空間 "と云う言葉に 出会ったその瞬間、何んの理由もないのに、何か 恐ろしいものにでも出会ったような気がして思わ ず周囲を見廻し、忍び寄ってくる春の宵の薄暮に 恐怖を感じて、大急ぎで傍らに置いておいた兄貴 のお下りのランドセルを背負って、その雑誌を小 脇に抱えて帰途を急いだ。途中、今までもその時 の情景を判っきりと思い出せますが、成蹊学園の 欅並木道まで来た時、欅の枝々が薄暗くなった夕 空に、カラカラと揺れて何かを話しかけるみたい でした。居たゝまれない恐怖感に魘われて家まで 走って帰り家人の顔を見た時には生き返ったよう な気がしました。夕食後(夕食といっても当時は 菜っ葉がちらちらと浮んだ殆ど水分である雑水し か食べられなかったのですが)赤味を帯びた裸電 球の下で恐る恐る先程の記事の所を再び読み直し て隣りで勉強していた兄貴に、四次元空間につい て尋ねたが、詳しい事は何も話して呉れなかった ように記憶しています。その夜はなかなか寝付か れず一晩中、闇を見つめて四次元空間の事ばかり 考え続けた。そして翌朝、学校へ登校すると直ぐ 友人にその雑誌を返し、仲の良かったグループ5 人で、四次元の世界について話し合ったが無論何 んの結論も出なかった。唯話し合った事で気が晴れ たのか、その後の事は現在何も思い出せない。

そして、2度目に "此の言葉 "に出会ったのは それから約一年後の中学1年の夏の日だったと思 う、当時、弱電関係の仕事をしていた叔父から、 これまた題名を忘れてしまったが数学に関しての 一般教養書のようなものをプレゼントされ、夏期 休暇中の或る暑い日に、しょうことなしに何気な く日次を見ていた所あの四次元空間の文字があり、 1年前の記憶が甦り思わずドキッとして吹き出て くる汗も忘れて、慌ててその頁を開いて見た所、 そこには0次元空間、1次元空間、2次元空間、 3次元空間、4次元空間と書かれて、それぞれの 空間の透視図が描かれてあるのでした。しばし呆 然として眺め、なぜ、こんなものが小学生の時あ んなに恐かったのだろうかと 不思議に思った のでした。そしてグラフ用紙に真似して描いたりし て安心した気持になったと記憶しています。それ から、その本を引っ繰り返して竹内某と云う著者 の肩書が理学博士であるのを見て"博士と云う人 は偉い人なのだなあ〃と子供心に強く印象づけら れました。それ以後、断片的に "四次元空間"と 云う言葉を聞いても格別興味を覚えず真似して書 いた、あの空間図形を思い浮べる程度でした。

ところが、不惑の年も近づいた昭和49年の或る 晩秋の日曜日、小学校入学前の娘をつれて、ぶら っと散歩がてらに町の本屋に入った所、あの幼い 時に不安な気持で見た文字が棚に並んでおり、な んとなく微笑ましい気持で、その本を手に取った のです。パラパラと頁を繰り中学1年の時に真似 して描いた図形があるものと予期していた所、見 当らず、これは変だぞと思い慌てて、もう1度繰 返して見たのですが、やはり見附からなかったの です。ぐづつく娘に急がされて"よし家に帰って ゆっくり見よう〃と決心して中味の乏しい財布か ら大枚 550円也を支払って、関英男著"四次元99 の謎"と云う本を買求めたのです。早速、その日 1日で読み終ったのですが、その内容がよく理解 出来ず、それから約1ヶ月間に百って何回も読み 返して"四次元空間"と云う言葉に対しての認識 を新たにする事が出来たのです。(考えてみると "その言葉"は私にとって、形とそ違えダンテの ベアトリーチェに比すべきものなのかも知れない ? それとも幼い時から此の現実の世界に絶望し た気持が潜在意識となって、逃避の為に未知の第 4番目の次元を求めて彷徨しつづけているのかも

知れない)

そして、それ以後も"四次元空間"と云う言葉 に仄かな憧憬と底知れぬ恐怖感とを抱きつづけ、 求め得ぬ空間を求めて私の心が、私の魂がさ迷う のであるが、そんな或る日の朝とある新聞の一面 に、あの世界的数学者である岡潔先生の死亡記事 が載っていたのです。先生のライフワークに関し ての短かい解説があったのですが、無論、数学の 専門家でない私には全く判らない事ばかりの記事でしたが、見た瞬間何となく直感的に、先生のライフワークが現実の三次元世界を離れた他の次元の空間(もしかしたら四次元空間)の存在に関するものであるように思われたのですが何如なものでしょうか?有識者の御意見でも伺えれば幸せと思いつつ擱筆致します。

吾輩は馬である

秋川市 葉 山 侃

吾輩は馬である。馬と言ってもシャバにいる馬 とは格が違う。レッキとした軍馬である。吾輩の 部屋の窓から見える明るい広い庭は、台湾の台北 にある日本陸軍山砲隊の営庭だ。誤解し給うな。 これは昭和15年のことをお話ししているのだ。 この山砲隊に吾輩は住んでいる。山砲と言うのは、 小さい大砲で、砲身と砲座と車輪と言った具合に、 バラバラに分解して運ぶことが出来る。その部品 を背負って、山坂を運ぶのが吾輩達の任務である。 その目的のために、兵隊と協力して、日夜訓練に いそしんでいる。だからこう見えても、日本陸軍 の一員である。それはさておいて、今日は吾 輩の生活を少しくお話ししょう。吾輩の住ん でいる建 物は赤煉瓦造りの平家で、屋根は本瓦屋 根、床はコンクリートで天井は高い。真中に広い 通路があって、その両側に吾輩達の個室がズラリ と並んでいる。一方の入口から眺めると、他方の 出口が遙か遠くにかすんでいる。いやこれは一寸 オーバーな言い方とお考えかも知れないが、馬の 目から見ればそうなんだ。こんなに大きい厩舎が、 幾棟も整然と並んでいるのだから、ここに住ん でいる吾輩達の仲間の数は、それは相当に多い。 何頭位いるかって。おっとそれは軍の機密と言う 奴にひっかかってお教え出来ないな。悪しからず。 何しろこの山砲隊では、吾輩達がいないことには、 その任務を果せないわけだから、言うなれば吾輩 達が主役である。だからそれ相当の住居も待遇も 与えられていようと言うものだ。住いの外側は広 いコンクリートのベランダとなっており、ここに はズラリとシャワーが設備されていて、運動のあ とは、兵隊達がシャワーで吾輩達を洗ってくれる ことになっている。何しろここフォルモーサ即ち

美しき緑の島と言う台湾の別名だが、暑いので、 激しい野外演習のあとは汗が多くてシャワーでも 浴びないことにはやり切れない。兵隊達が、それ こそ頭のテッペンから足の爪先まで、プラシを使 ってたん念に水洗いしてくれ、全身をあんまして、 爪には油をていねいに塗ってくれたあと、南国特 有の涼しいそよ風にあたっていると、まさに天国 だ。今もシャワー、マッサージ、マニキュア、ペ デキュアを終って、いい気持でうつらうつらして いた処だ。さてと気分のいい処で吾輩が詳しい、 馬の姙娠分娩について語るとしよう。

馬の在胎日数を御存知かな。 328 日間で、人間 様の在胎日数 280 日間より 48 日間 長い。人間様 より念入りに子供を作り上げている。牝馬の発情 は大体5~7日間で、その周期は23日型である。 人間様は28日型の月経周期が多いそうだが、馬 には月経がないので、発情を知るには、挙動の変 化、陰唇の皺の変化、膣粘膜の変化、子宮膣部の 変化によって判断する。吾輩達は異性に対して、 このような細い心配りと、観察を常に致してお る。人間様の男達は、相手様が365日しかも 46 時中いつも同じ状態だと錯覚して、行動し ている不届者が多いのではないかな。少し勉強し て欲しいね。さて馬の精子の生命は大体 12~24 時間で、弱アルカリ性を好み酸性を好まない。3 % 蔗糖液又は5% 葡萄糖液を注入すれば、約2倍 位生存する。従って種付けの後に中絶せしめるに は醋酸を注入し種付け前には葡萄糖液を注入する。 受胎した牝馬は、姙娠8ヶ月位までは通常どおり に軍務に服して訓練が可能だが、9、10ヶ月で は半分に減らし、11ヶ月では全然休養して安静 にさせる。前進後退の運動は殆んど差支えないが、

障害飛越など上下運動は流産の原因となるから厳禁だ。 仔馬が生れると臍帯は自然に切れるのと、親馬が嚙み切るのと二通りあるが、普通は人間様が切ってくれる。 出臍は牝馬には差支えないが、牡馬は種付けの時に邪魔になる。 生れた仔馬は、やがて立上り母馬の周囲を歩き始める。念入りに作り上げただけあって、あとの手数が大いに省けるわけだ。次に種付けの話となるのだが、恥し乍ら吾輩はこの件に関して一寸自信がない。と言うのは肝腎のものを抜かれているからだ。余り威張って言えることじゃないけれど、軍馬の牡馬はアレを抜かれている。人間様の言う、

カストラチォンと言う奴さ。抜かれずにいると牡 馬の気が荒くなって、噛むわ蹴るわ騒ぐわで、と ても兵隊達の手に負えたものではないし、列を正 しての行進なんか、チャンチャラおかしくて暴れ 出したくなるので、訓練も出来ない。抜かれては いるが吾輩も牡馬だ。種付けを全く知らないわけ ではない。とお話ししているうちに、厩舎の通路 が兵隊達の話声、足音、桶のぶつかる音で騒々し くなってきた。そろそろ食事の時間だ。腹も大分 減ってきていることだし、お話の続きはまた次の 機会に譲って、今日はこの辺でさよならしよう。

越年迎春

羽村町 福 島 大 寿

新年を迎えることになりましたが、賀詞を申し上げてよいものか躊躇う昨今であります。特に今年はマスコミは保険診療費請求の架空、水増し等恰も開業医の大部分がそうであるかの様に報道し問題は現行の保険医療制度にありながら、医師の高額所得は乱診乱療が原因であるかの如き記事、脱税の記事が賑やかなことであった。更には日本の医師の医療知識と技術は世界で最悪であるかの如く国民に思い込ませている。

保険診療費に係る税の特別措置の発足と経過については、マスコミも充分に承知の上で国民にはその点を理解させず、一方的に批判し不当な差別であると国民を扇動するかの様であり、今後税法が改正、いや改悪される気配である。

はたして日本の医療はマスコミが報道し、国民 が考えているほど悪いのだろうか。過去に発表さ れたものを、もう一度思い出して見たい。

厚生統計協会が昭和52年に発表した資料では、 国民1人当り1年間の医療費は米国が最高で124,100円、カナダ76,500円、フランス61,000円、日本57,900円、英国33,000の順で、日本の医療費は高額すぎではない。医師の数は人口に対する割では、イタリー、西独、米国、スエーデンの順で日本は第5位であって決して多いとは云えないが、そう少いとも思われない。

1945年の国連統計によると新生児死亡率の 低 さは、人口1,000人に対しスエーデン9.6 日本10.7 米国17.6 西独22.2となっておりこの時点では 世界第2位の低率である。国民全体では西独11.7 スエーデン10.6 米国9.2 日本6.5 従って現時点 では平均寿命は世界最高となった。

その他、新患が医療機関に予約しないでその日のうちに受診が出来、総ペット数の人口に対する割合は世界第2位で入院治療が容易であると云うことである。

以上の統計的な数字は世界公認のものであるが 死亡率が低く特に新生児から乳幼児死亡率が低い ので世界最高の長寿国となった。この事は日本の 経済成長による日本国民の食生活その他の生活環 境が改善されたこともさることながら日本の医療 水準の高さを物語っている。

第一線の開業医の地域医療活動が大きく寄与していると信ずる。患者に対する適切な診断と治療は勿論のこと、乳幼児健康診査、成人病検診、学校医活動、各種予防接種などを通じて地域住民の健康管理に努力して来た。近年は休日当番医制度休日深夜当番医制度さらには休日準夜間当番医制度も発足した。これらの活動は開業医が主体となっており諸外国では類を見ないことであり、高く評価されるべきである。冒頭に述べた医師に対する不当な批判、低い評価には反撥しなければならない。

今年も日本医師会、東京都医師会、西多摩医師会を1本の柱とし、更に他地区医師会と横の連携をとり医師会活動に努力したい。

新年に思う

秋川市 三 澤 剛 文

国際心臓病学会が人類に与えた警鐘の餘韻が末だ消え去らぬ間に、社会党提出による健康保険制度の改正、医師優遇税制廃止等の諸問題に対する医師会への公開討論申し入れ又、小沢厚生大臣報告による社会保障の見直し、老人保健医療制度の別建等を訴えた厚生白書等幾多の問題をかゝえたまま新春を迎え医療の転換期を思わせる大きな蠢動を感じざるを得ない。

医師会に於ても新年早々幾多の医療行政面で身近な機能施策の対応に迫られてくるのではなかろうか、その1つは何んと云っても地域医療の問題であろう。地域医療の体制の中で日常我々が行っている、診療は唯の一点に過ぎないが、地域住民の健康増進に係る問題は地域の保健予防衛生、地域の医療機関、病院、開業医との連携、救急医療、救急システム、保健センターや保健教室の問題があり、負わされる任務は重い。地域医療の向上はその土地に長い間住み、その土地の人々と交り親しみ、其の土地の特性や環境を身につけることに依って始めて予防衛生処置をレベルアップし得られ、一方自治体の計画的な予防衛生活動に、地域医療機関が勢力的に協力せねば地域医療の充実万全は期し得られない。

これ等予防衛生の外、疾病を健康状態に戻す為相当長期間に亘る治療、訓練に努力を要するものがあり、これ等に対してはリハビリテーション専門の治療所の必要性が生じ又老人としてその病状、機能、衰退衰弱度の恢復の見込なき容態の患者には専門治療所の必要性が生じて来るわけで幾多の問題を投じている。昨年は秋川市だけでも数件の老人病院、リハビリ専門病院、アフタケアー施設の設立希望者が殺到した。

低成長経済の中で、最も有利確実な企業は学習 塾と老人病院施設であると云う評論家が居る様に、 老人病院的医学施設経営の急増の一面には、自己 所有の個定資産である土地を利用し老人医療費に 対する収益を得んとする意図か明かに商業的医療 経営と判断されるものがある。これ等は真の地域 医療体制の整備を破壊し、医療行政の運営を混乱 させ少数市民の税の犠牲による不平不満を招き、 他方に於て長い間に亘り保健予防衛生に利潤を求 めず協力して来た地域医療機関を歩みつけにする 以外の何物でもないと思われる。

老人医療費の爆発的増大が老人を対象とした医 療機関の増加にあるのではないかと言われている が抑々医療問題の混乱の一番の原因は老人医療費 を健康保険扱いにした事にあると医師会代議員の 一人は論説している。即ち老人福祉法は法律上福 祉行政であり憲法上社会福祉に属すべきもので、 福祉に属すべき医療を社会保障たる健康保険に組 みかえた事にあり、この責任は第68国会であり、 政治家である。この混乱した医療を正す為には福 祉と保障と保険の位置づけから始めねばならぬと している。この位置づけに対処するが如く年末報 告された厚生白書は健康な老後を考えるをテーマ に急速に進んでゆく人口老令化や、やがて訪れる 高令化社会をめぐる家庭、健康、所得等の各分野 の現状とを述べ、社会保障については、将来合理 化を進める事を示唆し、社会保障を見直す必要、 社会保障に一線を引く必要性が生じて来ている事 を訴えている。又健康保険制度の抜本的改正や、 老人保険医療制度の別建が行詰り状態にあること、 我国の人口構造の高令化が欧米に見られないスピ ードで進んでいる事と平均寿命の伸長の要因とし て医学の進歩、医療供給体制の整備、医療保障制 度の充実を挙げ、やがて訪れる高令化社会での課 題として、子供世帯と老人との同居による健康へ の取組み、高令化社会の特性を生かしながら長生 きを喜ぶことの出来る、うるおいと活力ある社会 家庭を築き上げて行くことがこれからの課題とし ている。家庭生活を豊にし親子老人子供世帯の同 居により老人ホーム老人病院的あり方の追放を口 にしていた総裁候補のいたのも無理はなく、新厚 生白書の先取りによるものであろう。これが新春 早々老令化社会の中での地域医療の本当の指点な のかもしれない。

世界旅行の味覚

この秋舞鶴方面に旅行して土産に松茸の籠を貰った。随分高級のものを呉れたものだ。持ち歩くと何ともいい香りが漂う。一体いくら位するものかと、帰りだ京都駅の売店で見たら1万円の値がついていた。

今年は松茸は豊作だそうで、この地は従来から名産地であるから、存外安く手に入るということだ。聞くところでは最近は韓国産のものが多量輸入されていて、香料を添加すると一寸区別出来ないともいう。疑えばきりがない。早速帰ってから一本を焼いて食べ、後を松茸飯にした。舌障りや歯障りでは昔のものと変りないが、一体に小粒でどうも野性味に乏しい。

元来松茸は高価なものであったが、以前は今程でなかった。子供の頃祖父が得意になって一本づつ紙に包んで、へっついの灰の中で焼いてくれた。 熱いのを手で裂いて、ゆず醬油につけて兄弟で争って食べた思い出がある。

戦前は文字通り一菜一汁が普通の家庭の食事であって、副食物はそう沢山はなかった。漬物と飯だけが重であった。だから何でも変ったものの印象がより強く脳裡に残っているのであろう。この松茸もその頃程の風味を感じない。

俗に「名物にうまいものなし」という。確かにそんなところもある。私は長年伊豆に住んだので、上京の折など三島駅で乗り降りした。三島はうなぎが名物である。何でうまいかというと、ノーエ節にある如く「富士の白雪は朝日で溶ける。溶けて流れて三島に下る……」で、水が清い。大井川、天竜川の辺で育ったうなぎをこの水で飼えばすっかり泥を吐いてしまうからだという。

ところが駅の附近で食うと一向どうということもない。或る日曜日の午后バスの時間の都合で、待たねばならないので、三島大社の方を歩いて、あまり立派そうでないうなぎ屋に入った。客も立混んでいたが、なかなか持って来ない。摧促すると、ここでは、注文を聞いてから、うなぎを選んで裂くから時間がかかるのだと答える。ビールを飲んで、いやという程空腹を我慢出来なくなる頃運んで来る。食い終ってみると焼方にも気持がこ

福生病院 岸 田 壮 一

もっているし、たれも独特の工夫をしたもののようで仄かな満足感は残る。しかし日が経つと忘れてしまう。どうやらうなぎのうまさは長時間待たすところにあるようである。

私はこと数年来外国旅行に行く癖がついた。見知らぬところ、或は知識だけのところへ行ってみるのは面白い。そして出来るだけ日記を丹念につけて、紀行文を書くのが楽しみだ。今思い返してみると食べ物や料理に思い出すことが多いのだが、その名前や調理用語を詳しく記載して置かなかったのが残念である。しかし今一応その地で受けた印象を書いて置きたいと思って紙面を拝借する次第である。

(北米)

アメリカ合衆国は食べ物は一般にまずいという 定評がある。歴史的にみてもつまりは移民によっ て成立した国で、開拓が勢一杯であったであろう から、料理などには手が回らなかったと思われる。 経済や文化水準が高い割合には食べる方はカロリ 価がべらぼうに高いだけで、味の方はさっぱりで ある。

しかし何でも駄目だというわけではない。サンフランシスコのフィシャーマンズ・ウォーフのか にや三大橋回りでサン・ラフェイロ橋の袂で食ったひらめ料理は結構いけるものだった。

旅行の添乗員やガイドの話によると、日本人は 野菜と魚については調理法が変っても何とか食べるが、肉料理ばかり続くと参ってしまうそうである。今いうのも海産物であったからよかったのかも知れない。肉も欧米人の側からいうと調理の方法でいろいろの味を感ずるのであろうか。私達にすると、肉は所詮肉である。戦後食生活が変ったといっても胃袋の中までそう違っていないようだ。日本人が本格的に哺乳類の肉や乳製品を食べるようになってから、そう長年月が過ぎたわけではないからであろう。

ニューオーリンズの学会でのカクテル・バーティーに生のかきが添えられたのは大変よかった。 丁度午后の講演が終ったばかりで、ホテルで一服 してから夜のバンケットに望む筈で、最も空腹を 感ずる時間であったのも影響したのであろう。ア ルコールが腹に滲み始める共に冷いレモン酢のか きが咽喉を通るのは何ともいいものだった。

総じてうまいとかまずいといっても、その時の体のコンディションや周囲の雰囲気によることも多いので、必ずしもそのもの自体によるとは限らない。ニューオーリンズはその名が示すようにフランス人によって開発されたところで、一時スペイン領になったこともあるというが、何としてもフランス色が濃い。黒人奴隷の入った港でもあるし、南北戦争では南軍の要衙でもあった。ジャズやストリップ発祥の地でもあるから。所謂アメリカとは大分異った趣がある。

岸壁に近くフレンチ・クォーターという一画がある。ここにはやや田舎風ではあるが、瀰洒なレストランがあって、なかなか気の利いたフランス料理を食わせる。これも土地柄海産物が主であることが私達にはいいのかも知れない。

外国に於ける日本料理は高いばかりで一向うまくないという。しかしそれは大体ョーロッパのロンドン、パリなどでいうことで、西半球即ち南北米大陸では決してそんなことはない。ニューョークには 200 軒以上の日本料理屋があると聞いたが今はもっとふえているであろう。

私はマンハッタン島の真中でにきりずしを食ったが、別にまずいものではなかった。ただ量が多い。一つが日本での2~3倍はある。たねものの 魚もそうだが、飯の部分が大きい。日本でも戦前はそれ位あったように憶えている。戦中戦後の食料難から小さくなって今も小さい。

アメリカ合衆国でも西太平洋岸やハワイでは日本料理店が多いのは日本旅行者も来るし、移民も居るのだから当然であるが、近頃は東部でも盛になりつつある。まだとても中華料理には及ばないが、一つには日本が世界の長寿国になったからである。欧米人の死因に心筋梗塞等心疾患が多いのは周知のことであるが、その主因は高カロリー、高脂肪の食事にあるのは間違いないであろう。又中年以上の女性がぶくぶく太って皮膚に光沢が失せるのも脂肪食によるであろうと考えるらしい。つまり日本食は健康長寿食又は美容食のように思

われ始めたらしく、日本式レストランの顧客も日本人よりむしろ米国人の方が多い位である。

カナダは世界中で最も美しい国である。それも 日本やスイスに於けるような箱庭的ではない。実 に宏大である。そして経済の豊かさもある。その 上に何より清潔であることがこの国の特徴である。

にも拘わらず食べ物の方は一向にうまくなかった。来る日も来る日も肉料理であったからだ。変ったといえばディナーは最初フルーツで始まることである。このやり方は他の国でもあったようにも思うが、フルーツはやはりデザートの口直しの方がいい。

7月半ばに行ったから北緯 50 度を越すこの地では日の長いのに弱ってしまった。カナディアンロッキーのパンフにあるスプリングス・ホテルは樹木に囲まれて、ヨーロッパ中世の古城の如くに発えている。中は最近代式の設備で晩餐はアルハである。夜の 7時になっても8時になっても全く昼間である。9時でややをも8時になっても全く昼間である。10時には仄暗いが、まだ外はよく見える。11時でやっと真暗である。ここで終るから寝るのは12時を過ぎる。朝は3時を少し過ぎるともう空が白む。うっかりすると寝不足になる。

モントリオールでは折柄オリンピック開催中で、市内のホテルは国賓級や大会役員で満室であった。私達は西北70 粁のオールジュ村のイワン・クトーという宿に入った。幸にハイウェーが近くを通るので約1時間で行けた。もともとスキー小屋であったのを、日本人観光客のために急遽改造増築したものの如くであった。玄関には日章旗を掲げていたし、日本酒も用意していた。

部屋の隔壁も家具も新しい丸太を組合せて作ったもので、素朴な中に木の香が漂い、周囲の緑も腐るばかりで、前方には静かな湖沼もあって、カナダの田園気分を満喫することも出来た。夕食には必ず米飯も出したから余程日本人のために気を使ったと思われる。それでもうまくなかった。飯を油で炒めたり、挽き肉を混ぜて味付けしてあるのがどうもいけない。外国人には米飯の良さが分らないらしい。

理事会報告

- I 会長協議会報告 瀬戸岡副会長
 - 1.都医師会長の報告で 最近1ヶ月の厚生省、 日医、自民党の断絶状態について。
 - ◎コレラ騒ぎにつき、都医でも対策委員会が作られて活動していたこと。
 - ◎社会党からの公開討論の申し入れについて 政治的な面と、学問的な面の見解の違いで一 致しなかった。
 - ◎健保連が不正請求の問題をとり上げ、保険者から被保険者に診療内容を通知するとの事で、 架空請求だけはしないように注意をしてくれ との事。
 - ◎都医の30周年記念行事が盛大に行われた事。 などについて説明がありました。
 - 2.国際疾病、傷害及び死因分類、出生証明書及 び死産証書の改正について。

昭和54年1月1日以後に新しい書き方に変る。

- 3.社会保険診療報酬振込銀行の変更について 昭和 54 年 1 月分(2月請求分)より変更さ れる。変更手続きは地区医師会において一括 とりまとめて昭和 53 年 12 月 9日から昭和54 年 1 月 10 日までに支払基金宛提出する。
- 4 新規指定(保険医療機関、療養取扱機関)保 険事務講習会の開催について 昭和53年12月11日午後1時30分から朝日 講堂にて、対象者は昭和50年3月1日から 昭和53年11月1日までに新規に指定を受けた 機関で、その他に個々に通知してあるが、指 導を受けた機関も含まれる。
- 5.昭和 52年 中の 救急患者による損失医療費の 申請について。
- 6.民間医療機関防災及び消防設備整備事業に対する利子補助について。
- 7.医療資金融資の金利引下げについて。
- 8.東京都医師会学校医大会があるので出席を依頼する。
- 9.町田医師会より発言があり、相模原市その他の医師会との話し合いがあり、都内から締め出された老人病院が出来て困るとの事で、都医としてもキ然とした態度を示してほしいという意見が出され、都医としては老人病院に

5 3. 1 1. 2 2.

ついて、医療産業という名をつけていて医の 倫理にかなわないものは、我々の仲間に入れ ないという見解を示していると説明された。

福島理事:学校医大会に西多摩医師会よりの 出席者を学校医部の理事と委員とで構成した いがどうか。

賛成多数

学校医に功労があったので、石森先生、坂本 先生、それに百瀬先生と加藤先生が表彰され ます。

百瀬理事:健保連の方針が説明され、医師会側はいわば守りの対策しかないようで、攻めの方策についての話はなかったでしょうか。瀬戸岡副会長:話は出なかったですね。会長:正直に診療している会員に迷惑がかからないような方法がないものか。会長会議で西多摩医師会として発言してもよいですね。三多摩庶務連絡会報告 中林理事

- Ⅲ 三多摩庶務連絡会報告 中林理事 話題になった問題を御報告致しますと、
 - 1.各種学校医の報酬等の要望額について各 医師会の実状
 - 2.監察医務業務について 三多摩地区では 行政解剖が出来ない問題
 - 3.多摩医学会について 武蔵野医師会が加入していない点
 - 4.医事紛争の現状について 外科と産婦人 科に多いが、現在大きな事件は起ってい ない。
 - 5.保険証の提示について コピーしたもの は取扱ってはいけない事を確認。
- III 学校保健法の一部改正について 福島理事 学校保健法及び安全法が一部変り9月に担当 理事連絡がありました。詳細は後日会報にて 御報告致します。

就学時健診についてですが、障害児の問題は 校医が選別する必要はありません。学校長と 教育委員会と学校精神科医が決めることになっています。ただ、今まで学校精神科医とい う指定があったのかどうか。

又学校安全会の保償金が少し上りました。

12月8日にも又会議があります。

現在羽村町にて行われておりますが、他の各

IV 麻疹接種の現況について

地ではどのようになっておりますか。 青梅では1月末から個別でやるようになりま した。問診票も出来上りました。 秋川でも1月からです。 五日市では11月1日から実施済みです。各 医療機関に4~5名位来ているようです。現 在のところ副作用は出ていないようです。 羽村では10月1日より実施済み、問題は起 っていません。月に4~5名位です。 福生では何も決まっていません。 瑞穂は28日に協議する事になっていますが、 1月からやりたいと思っています。 日の出では11月からやっているのかな。 瀬戸岡副会長:費用の問題でいろいろ話が出 ています。初診だけ 1,000 円というのも保険 で 1,240 円でやっているのにおかしいという 事、又自治体から払込まれる費用も予防注射 の報酬として払込んでほしいという話になり ました。そうでないと自由診療という事にな

V 役員忘年会について 総務会で次のように決定致しました。 日時 12月19日(火)PM7:30より 場所 福生のあたみ

対策委員会が扱いますか。

り、税金の上で非常に不利になってしまう。

今後医師会で研究したらどうでしょう。税務

役員全員の御出席をお願いします。

- VI 医政連で臨時会費を徴集するという事になり ました。(西村理事) 会員1名5,000円で、53年12月末日迄に集 めます。又医政連西多摩支部として5万円を 送附しました。
- Ⅶ 税務対策委員会より(百瀬理事) 今年は税務署との関係が非常に親密になりま したので、もし各地で問題が出ても、納得出 来る話合いが出来ると思われます。
- VⅢ 報告

青梅税務署署長から百瀬先生に感謝状が届け られた事を御報告致します。

Ⅳ 奥多摩病院問題について

先頃奥多摩病院移転に関して、西多摩医師会 及び青梅医師会が見解を示して反対を表明し て来ましたが、此度奥多摩町の方からこれに 対しての見解、説明を示して参りました。

その内容をみますと、医師会を無視してい る訳でもなく、又医師会の意見を尊重すると あるも、移転土地の変更についての説明も、 その後の経過についても何も言及していない。 問題となっている点をわざと外して書かれて いる事で町の見解を示しているものとは思わ れません。従ってこれらの点を更に説明を求 めるために、西村理事(地対委員長)にお願 いして当医師会の意見を明示して、その理由 を正すことにします。

一度町の関係者の説明を聞く会を持ったら どうでしょうか。

では、医師会側は三役と総務部長、地対委 員長と青梅医師会役員、それに川辺先生が集 まり、町の当局者を呼んで話し合う事にしま しょう。

X 西多摩医師会新年会

日時 1月20日出 午后5時から 場所 瑞穂の「ホテル森川」で 会費 1 医療機関 5000 円 尚 設営は福祉部で担当する。

XI 入会者紹介

(以上)

(追加)

12月8日役員協議会で次の事が報告されま した。

自治体の市長、町長代表者との会談にて下記 のように諸手当の額が決定致しました。

学校医手当

(月額) 24,500円 四

管理手当

(月

額) 9,500円 🖠

就学時健診手当

26,000円

予防接種出務手当 (1時間) 17,000円

(記 土田)

事業部だより

学校医部

昭和53年度 東京都学校保健・給食大会の開催について 日時 昭和53年11月21日 場所 豊島公会堂

参加者は(1)受賞者及びその関係者。(2)学校教職員(学校保健、学校安全、学校給食、学校体育関係者)(3)区市町村教育委員会職員。(4)学校医、学校歯科医、学校薬剤師(5) P T A・関係団体で、今年は主旨が「心と体の健康づくり」で学童、生徒期の食生活が将来の健康の基礎となるので給食関係者も参加しました。

プログラムは第1部 開会式、表彰式。第2部 特別講演「児童・生徒の心と体の健康づくりをめ ざして」慶応大学五島教授。第3部 特別公開演 技 新体操とダンス。東京女子体育大学、日本女 子体育大学、日本女子体育短期大学の学生が演じ ました。

第1部のうち学校保健功労者として受彰した学校医は三多摩地区は10名でありましたが、これは各市町村教育委員会が推薦母体であります。

第2部 特別講演

講師 慶応大学医学部内科教授 五島雄一郎 成人病予防のためには子供達の食生活が重要である。力士の平均寿命は20才低い。高血圧症、糖尿病、脳卒中、心筋梗塞、肝障害等で死亡する例が目立つ。この原因は入門後の食生活である。チャンコ鍋と云う特種な料理を摂るが、これはカロリーが高く食塩も多い。又最近は子供の糖尿病、高コレステロールが増えている。

食塩、食塩の摂りすぎや蛋白質の不足は高血圧症の原因である。東北地方特に秋田は食塩の摂取量では世界の第1位となっていることは有名である。この地方の食生活は主食は白米で副食物は食塩の強い味噌汁、漬物が多くとられている。人は1日2分の食塩をとれば充分に生活出来るが秋田では25分に達し従って高血症が多いことは有名である。福島はかなり前に興味ある論文を読んだことがありますが、それは多分東北大学医学部内科

の研究論文であったと思います。東北地方に生れ 育った若者が東北的食生活をつゞけ、成人期に食 塩摂取量の低い地方に移住し、その地方の食生活 をつゞけたものの高血圧発症と、反対に食塩の少 い地方で生活したものが成人期に東北地方に移住 し、その地方の食塩摂取量をつゞけたものの発症 では後者の方が少い。これは20才未満までの食生 活に原因があると云う内容で、五島教授の発言と 一致しているのであります。

砂糖 砂糖の摂りすぎは皮下脂肪が増え肥満の 原因となるばかりでなく肝、血管にも蓄積され動 脈硬化の原因になります。

脂肪 最近子供の高コレステロールが5%~10%に見られます。コレステロールの多い食品、飽和脂肪の多い食品のたべすぎで長年コレステロールの多い状態が続くと動脈硬化が進行し、それは心筋梗塞につながるのであります。

成人病の素地は学童、生徒期につくられますので此時期の食生活には注意しなければならない。

「日本学校安全法及び学校保健法の 一部改正」追報

日本学校安全法、学校保健法の一部が改正されることについては会報 昭和53年8月発行の第71号の紙上で報告しました。

(1)安全法関係では死亡見舞金等が増額されます。 (2)保健法関係では安全管理、環境衛生について 検査、計画、就学児の健康診断。

昭和54年度から養護学校が義務制度になるので、心身障害児についても就学児の健康診断を行い、普通学級か特殊学級かその他の学校のいづれかに入学させるかを選別することになります。

選別については学校長、教育委員会、精神科学 校医の三者で構成する判定委員会が当る。

学校伝染病(第2類)の出席停止期間の改正について

18

- 1. インワルエンザにあっては解熱した後2日 を経過するまで
- 2. 削除
- 3. 百日咳にあっては特有の咳が消失するまで
- 4. 麻疹にあっては解熱した後3日を経過する まで
- 5. 急性灰白髄炎にあっては急性期の主要症状 が消退するまで
- 6. ウイルス性肝炎にあっては主要症状が消退 するまで
- 7. 流行性耳下腺炎にあっては耳下腺の腫脹が 消失するまで
- 8. 風疹にあっては発疹が消失するまで
- 9. 水痘にあってはすべての発疹が痂皮化する まで
- 10. 咽頭結膜熱にあっては主要症状が消退した 後2日を経過するまで

- 1. インフルエンザにあっては、主要症状が消 退した後3日を経過するまで
- 2. 伝染性下痢症にあっては、主要症状が消退 するまで
- 3. 百日咳にあっては特有の咳が消失するまで
- 4. 麻疹にあっては主要症状が消退した後7日 を経過するまで
- 5. 急性灰白髄炎にあっては、急性期の主要症 状が消退するまで
- 6. 流行性肝炎にあっては主要症状が消退する まで
- 7. 流行性耳下腺炎にあっては、耳下腺の腫脹 が消失するまで
- 8. 風疹にあっては主要症状が消退した後5日 を経過するまで
- 9. 水痘にあっては痂皮が全部脱落するまで
- 10. 流行性腎炎にあっては、主要症状が消退す るまで

学校医被表彰者

氏名(敬称略)

推薦母体

氏名(敬称略)

推薦母体

坂本 保 都医学校医会功労者 西多摩医師会

百瀬 政雄 学校医会永年勤続者 西多摩医師会

石森 賢一 同上

同上

福島 大寿 東京都教育委員会

羽村町 教育委員会

野口 幸子 学校医会永年勤続者 同上

学校保健功労者

(記 福島)

部 保 険

西多摩医師会

9月分

診療報酬明細書返戾状況

	返 戾 理 由	医科(乙表)件数
1.	記号番号不備不明および保険者名(符号)不一致のもの	67
2.	国保・国鉄等基金と契約してないもの	2
3.	生年および患者名不備あるいは記載ないもの	2
4.	傷病名不備あるいは記載ないもの	3

会員通知

- ○コレラ患者の取り扱いについて(緊急連絡)
- ○昭和 52 年度中の救急患者による損失医療費のとりまとめ及び申請について
- ○都医政連臨時会費徴収の要請について
- ○名簿作製についてのアンケート
- ○都医療費助成対象疾病の追加について
- 健康保険組合全国大会決議に対する態 度について
- ○ポスター(保険証提提示の注意)

1月行事予定

1月9日 保険整備会

9日 役員協議会(予定)

10日 法律相談

16日 会報委員会

20日 新年会

24日 理事会(予定)

法律相談日

1月10日(水)

2月14日(水)







同好会だより

第82回 西多摩医師会ゴルフ大会

昭和53年12月10日(日)低気圧の移動で 曇りから晴れたと思った矢先に、風雨が通りすぎ て行くと云った天候のもとで、12名の参加でお こなわれた。

中村先生が、前回に続いて2連勝した。 次回は2月狭山の予定です。今回の賞品はシォ ノギがスポンサーでした。

1月の研修会は、1月21日(日) 立川国際の草 花コースの予定です。

多数の参加を希望します。

(記 江本)

氏名	アウト	イン	グロス	ハシデ	ネット	ランク	夢	
中村	43	42	85	11	74	優勝	9	BG
鶴田	40	47	87	13	74	2	12	
林	48	44	92	17	7 5	3	16	
大嶽	49	49	98	22	76	4		
葉山	51	48	99	22	77	5		
内山	50	39	89	11	78	6		
江本	44	44	88	9	79	7		
宇田	48	45	93	14	79	8		
鈴木	47	52	99	15	84	9		
内田	52	44	96	12	84	10		
高水	59	46	105	17	88	11		вв
波田野	57	54	111	20	91			

あとがき

新年お目出度うございます。昨年中は会誌編集 につきまして、先生方御多忙中を種々御協力をい ただきまして、真に有難うございました。本年も 全会員の先生方振って御投稿くださいますようお 願いします。

本号編集の頃、11月末から12月上旬でした。セーター、バック、そしてネクタイ等商売人でも本当の商標のものと一寸区別がつかぬ程上手に造り上げた商品を有名品にみせかけて売っているという道をはずれた商人達のニュースと一緒に、医療チェーン店を思わせるような徳州会病院グループのニュースが一緒に流れていました。

同じ頃西多摩にも、老人医療とか福祉とかいう言葉でかざられた不良病院建設の浪がよせていま

した。医師が、全国支店、目標何軒とか、○○は 駅のそばとかいう商人の道に這入りこんでしまっ ては、医師でなくなります。医師には医師道が、 商人には商人道があります、我々はやっぱり医師 の本質を忘れず、医師道を歩いて行きたいもので す。

正月号は肩の力をぬいて、のんびりと読んでいただける編集を心掛けたつもりですが、思うにまかせず、こまっておりましたが、特に道又、堀田両先生のお骨折りで立派に出来上りました。又近藤友好先生には表紙の写真に正月の風情を出すため、暗い内から、寒い中を、ご苦労なさったとのことです。有難うございました。

(記 米山)









秋川の日の出

初日の出と云う事で秋川の日の出を写した。 種々と構想はあったが、こんな平凡なものに なってしまった。寒さだけはかなりなものだ ったがいろいろな水鳥が来ているのにびっく りした。レンズのくもりを気にしながらだっ たが露出オーバーになってしまった。どなた か太陽の盗み方を教えてくれませんか。

今年も良い年であります様に。

近藤 友好



昭和 54年 1月 1日発行 発行所 **西多摩医師会**

東京都青梅市西分 3 - 103 TEL(0428) 23 - 2171 代

会報編集委員 川崎健一郎

 米山
 秀雄
 堀田
 洋夫
 道又
 正達

 土田
 守一
 堤
 次雄
 植田
 稔

 松原
 貞一
 桂木
 真
 足立
 卓三

印刷所 マスダ印刷 TEL(0428) 22 - 3047

誠意と迅速を旨として

地元に誕生した公認臨床検査センター 先生方の検査室として御利用下さい。

東京都衛医、医第52号

西東京医学研究所

青梅市千ヶ瀬4-374-1 TEL 0428(23) 3573

SANKEN



- 特 長 ほ乳動物の新鮮な肝臓から抽出したエキスを成分 としています。
- 成 分・分 量 フラピンアデニンジヌクレオチド…10mg, アデニル酸並びにその誘導体・フラビンモ ノヌクレオチド・リボフラビンなどを含む 肝臓抽出エキス…15μℓ (約15mg)
- 適応症 肝機能障害、ビタミンB₂欠乏による疾患、 消耗性疾患、薬物中毒、酒毒、ニコチン中 毒。
- 用 法・用 量 | | 回 | ~ 4 x / を | 日 | ~ 数回,皮下,筋肉 内または静脈内に注射します。
- 薬 価 1管 593.00

代謝改善剤アデラビン9号



医薬品製造販売 三和化学研究所 名古屋市東区東外場町2丁目3番地

Cardioprotective Tasacon Tas

トラサコールは、 β -受容体遮断作用のほかに、やや穏やかな膜安定化作用と本剤固有の内因性交感神 経様作用(Intrinsic Sympathomimetic Activity: ISA)を有する不整脈・狭心症治療剤で、過剰な 交感神経系の刺激から心臓を保護します。





きトラサコール

錠20mg·40mg CIBA

臨床検査センターの雄

横浜市保土ヶ谷区神戸町106 電話 045 (333) 1661 (大代表) 八王子市子安町3-17 電話 0426 (26) 2203・2204



- ○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
- ○完全オンラインシステム化を実現致しました。 (データー通信システム)
- ○関係医療機関 約 3,500ヶ所
- ○広範囲な検査内容
 - ●内分泌学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - ●病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

Ⅰ都川県の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。